GR-DVA11K
同梱ソフト

JLIPビデオキャプチャー

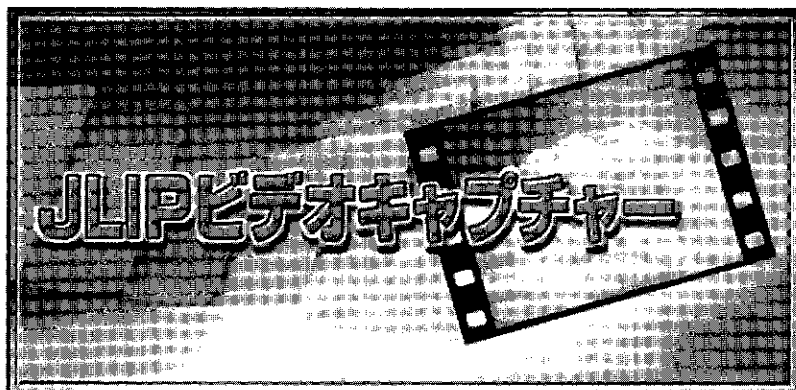
はじめに

はじめにお読みください | ピクチャーナビゲーター | JLIPビデオキャプチャー | JLIPビデオプロデューサー

準備

基本編

応用編

その他

JLIPビデオキャプチャーとは、ビデオ機器からパソコンに静止画像を取り込むアプリケーションソフトです。ビデオ機器をパソコンで操作して、簡単に画像を取り込むことができます。

お買い上げいただき、ありがとうございます。

- ご使用の前にこの「取扱説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。そのあと大切に保管し、必要なときにお読みください。
- 動作環境は、「はじめにお読みください」の取扱説明書をよくお読みください。

LYT0661-003A

安全上のご注意

⚠注意

■付属のCD-ROMをオーディオ用CDプレーヤーで再生しない

オーディオ用CDプレーヤーやCDラジカセでCD-ROMを再生しようとすると、過大な信号が流れて、回路やスピーカーに障害を与えることがあります。

■CD-ROMの取り扱いについて

鏡面（文字などが印刷されている面と反対の面）を汚したり、傷を付けないようにしてください。また、裏表どちらの面にも文字を書いたり、シール等を貼らないでください。
汚れたときは柔らかい布で中心孔から外側へ放射状に軽く拭き取ってください。
従来のレコード・クリーナーやスプレーは使わないでください。
ディスクを曲げたり、鏡面に触れたりしないでください。
ほこり、直射日光、高温多湿の場所は避けてください。

もくじ

はじめに

準　備

基本的な使い方

応用的な使い方

その他

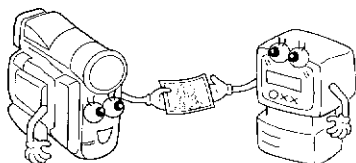
本文中の記号の見方

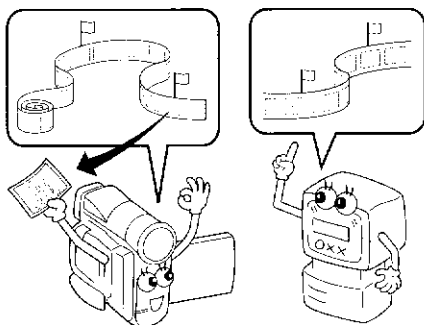
操作上の注意などが書かれています。

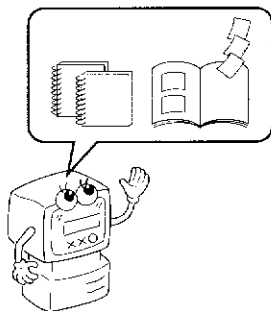
機能や使用上の制限など、参考になる内容が書かれています。

主な特長

ビデオキャプチャー機能

ビデオ機器からパソコンに画像を取り込むことができます。

DV コントロール機能

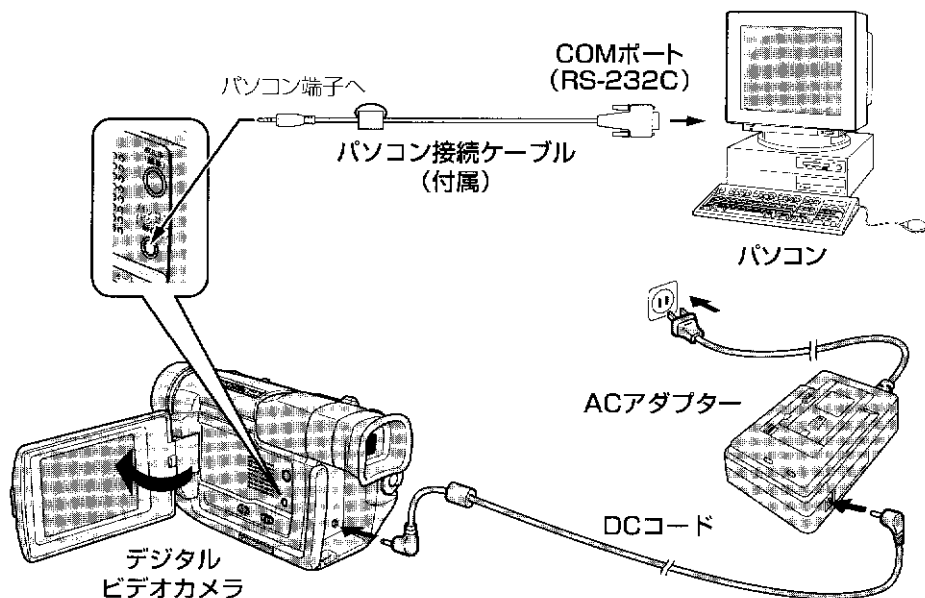
パソコンからビデオ機器を操作することができます。
マウスだけの簡単操作でキャプチャーすることができます。

アルバム機能

キャプチャーした画像はアルバム形式でまとめて保存することができます。
保存したアルバムを読み込むことによって、ビデオ機器を接続しなくても、取り込んだ画像を保存や表示することができます。

スライドショー機能

キャプチャーした画像をパソコンの画面に次々と自動的に表示することができます。
アルバム感覚でご家族やお友達と楽しくご覧いただけます。

接続のしかた

安全のため各機器の電源を切ってから接続してください。

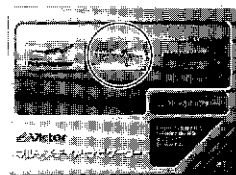
- パソコン接続ケーブルは､フェライトコアが付いた側をデジタルビデオカメラへ接続してください。
- デジタルビデオカメラを接続してお使いの場合は、ACアダプターをお使いください。

起動と終了

準　備

- 5ページの接続をしてください。
- ビデオカメラの電源ダイヤルを**「見る」**にしてください。
- パソコンの電源を入れます。

起動のしかた

マルチメディア・ナビゲーターの「JLIP ビデオキャプチャー」をクリックする

- JLIP ビデオキャプチャーが起動します。

- すでに他のアプリケーションソフトが立ち上がっている場合は、すべて終了させてください。
- 時間や時刻によって定期的に起動するアプリケーションソフトはその機能を停止させてください。（スクリーンセーバー、電子メール、通信ソフト、ウィルスチェッカー、スケジューラーなど）
- お使いのパソコンに内蔵または接続しているハードディスクのフォルダやプリンターをネットワークで他のパソコンに共有させているときは、共有を解除してください。

JLIP ビデオキャプチャーの動作中はビデオ機器の電源を切ったり、パソコン接続ケーブルの抜き差しをしないでください。パソコンが誤動作する場合があります。

終了のしかた

1. インデックスウィンドウ(☞8ページ)で「ファイル」-「終了」を選択する、または「終了」をクリックする

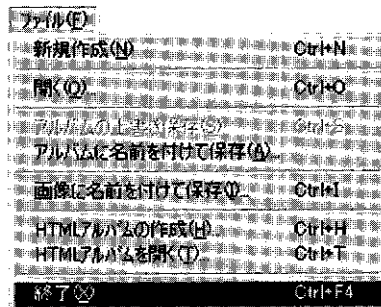
- 終了前に保存したいアルバムは 15 ページをご覧いただき、保存してください。
- 「JLIPビデオキャプチャーを終了しますか?」と表示後、「はい」をクリックします。
- JLIP ビデオキャプチャーが終了します。

ファイル(F)
新規作成(N)　Ctrl+N
開く(O)　Ctrl+O
アルバムの上書き保存(S)　Ctrl+S
アルバムに名前を付けて保存(A)
画像に名前を付けて保存(I)　Ctrl+I
HTMLアルバムの作成(H)　Ctrl+H
HTMLアルバムを開く(T)　Ctrl+T
終了(X)　Ctrl+F4

2. マルチメディア・ナビゲーターの「終了」をクリックする

- マルチメディア・ナビゲーターが終了します。

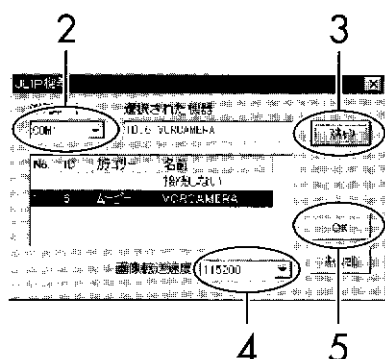
3. ビデオ機器の電源を切る

- お使いのビデオ機器の取扱説明書をご覧ください。

初期設定

接続機器を選択する

JLIP ビデオキャプチャーを起動したら、接続機器の選択をしてください。
パソコンのどのCOMポート（RS-232Cケーブルを接続しているコネクター）に接続しているか設定します。
接続機器を変更したときも、この設定をしてください。

1. インデックスウィンドウの「ウィンドウ」－「DVコントローラー」を選択する

- JLIP 機器ウィンドウを表示します。
- DV コントローラーウィンドウの「設定」－「JLIP 機器」を選択しても JLIP 機器ウィンドウを表示します。

2. 「シリアルポート」を選択する

- シリアルポートはCOM1～COM4まであります。パソコンのどのCOMポートに接続してあるかを確認して選択します。

3. 「スキャン」をクリックする

- 接続機器を調べたあと、機器名称を表示します。

4. 「画像転送速度」を選択する

- 通常は 115200 を選択します。
- ご使用のパソコンによっては、115200を使用できない機種もあります。使用中に通信エラーが発生するときは、38400以下に設定してください。この場合、画像転送速度は遅くなります。

5. 「OK」をクリックする

- DV コントローラーウィンドウを表示します。（設定終了）

接続機器の認識ができなかったときは、次のようにしてください。

① シリアル(COM)ポートが正しく選択されているか確認します。
② ケーブルが正しく接続されているか確認します。
③ 接続機器の電源ダイヤルを再生または再生/PCにします。
④ JLIP機器ウィンドウのスキャンボタンを押します。
⑤ 接続機器の名称を表示したら、「OK」をクリックします。（設定終了）

- 内蔵モデムやIrDAを使用している場合、それらのドライバがCOMポートに割り付けられているため、RS-232C 端子が使用できなくなっている場合があります。このようなときは、デスクトップの「マイコンピュータ」を右クリックして「プロパティ」を選択し、「システムのプロパティ」の「デバイスマネージャ」タブをクリックし、「ポート」の項目で確認してください。COMポートの空きがない場合は、COMポート使用しているモデムやIrDAドライバを「使用不可」にしてください。
- USBやデジタルスチルカメラのドライバによっては、RS-232C 端子が使用できない場合があります。
- パソコンの機種によっては、BIOS 設定が必要です。

準備

JLIP ビデオキャプチャー画面について

インデックスウィンドウ（メインウィンドウ）

取り込んだ画像のインデックス（見出し）を表示します。
いくつかの画像をアルバムとしてまとめて整理したり、保存ができます。

① ツールバー

「ファイルを開く」ボタン（☞*16*ページ）
アルバムのファイルを開きます。

「アルバムの保存」ボタン（☞*15*ページ）
画像表示エリアにある画像をアルバムとして保存できます。

「DV コントローラー」ボタン（☞*10*ページ）
再生画像を見たり、接続したビデオ機器をコントロールするための「DVコントローラー」ウィンドウを表示します。

「画像ビューアー」ボタン（☞*11*ページ）
「画像ビューアー」ウィンドウを開き、取り込んだ画像を表示します。

② インデックス表示部

取り込んだ画像のインデックスを表示します。

③「終了」ボタン

クリックすると JLIP ビデオキャプチャーを終了します。

④ インデックス画像

取り込んだ画像のサムネイルとタイムコードを表示します。
インデックス番号は自動的に付けられます。

ワイドモードで録画されている画像を取り込むと、インデックス画像は横縦比 4：3 の縦伸びの画像になりますが、保存する画像ファイル（JPEG/ビットマップ）では横縦比 16：9 になります。

JLIPビデオキャプチャー画面について（つづき）

DVコントローラーウィンドウ

インデックスウィンドウの「ウィンドウ」－「DVコントローラー」を選択すると、DVコントローラーウィンドウを表示します。接続機器のコントロールや画像の取り込みをします。

① カウンター表示（タイムコード）

接続機器のカウンターを表示します。

② 接続機器操作ボタン

◀◀ 巻戻し	▶ 再生	▶▶ 早送り
◀❙ 逆方向スロー	❚❚ 一時停止	❙▶ 正方向スロー
◀❙❙ 逆方向コマ送り	■ 停止	❙❙▶ 正方向コマ送り

③「電源」ボタン

接続機器の「電源入／切」をします。ただし、接続する機器によっては、電源の「入」または「切」ができないことがあります。

④「キャプチャー」ボタン

（☞12ページ）

お好みの場面でクリックすると、パソコンに画像を取り込みます。

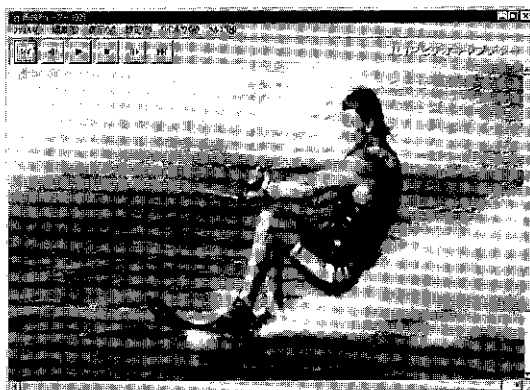
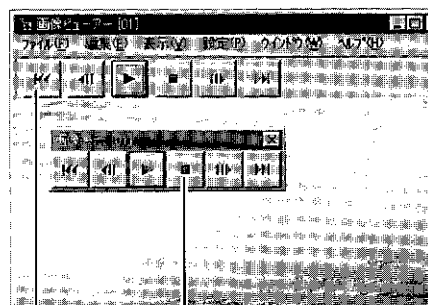
⑤「自動キャプチャー」ボタン

（☞18ページ）

接続機器の再生を自動制御し、画像を取り込みます。

- 画像取り込み以外の時に「DVコントローラー」を表示すると、マウスへの応答が遅くなったり、処理時間が長くなる場合があります。このような時は「DVコントローラー」ウィンドウを閉じて使用してください。
- スライドショー操作中または、画像ビューアーウィンドウの「編集」－「クリップボードにコピー」、「編集」－「画像エディターを開く」を選択したときは、自動的にDVコントローラー画面を閉じます。
- コマ送り再生ができない接続機器では、「正方向コマ送り」または「逆方向コマ送り」のボタンを押すと、短時間スロー再生をしてから静止となります。このような場合、機器によってはコマ送り再生1回の「進み」が正確に1フレームとならないことがあります。
- 接続機器やそのリモコンで操作をした場合には、「DVコントローラー」の表示と実際の動作が異なる場合があります。
- 接続する機器によっては動作しない機能があります。

画像ビューアーウィンドウ

インデックスウィンドウの「ウィンドウ」－「画像ビューアー」を選択すると、画像ビューアーウィンドウを表示します。
取り込んだ画像を表示します。また、保存前に画像を確認したり、スライドショーなどができます。

① ツールバー

画像表示やスライドショーの操作を行います。
各ボタンの機能は次のとおりです。

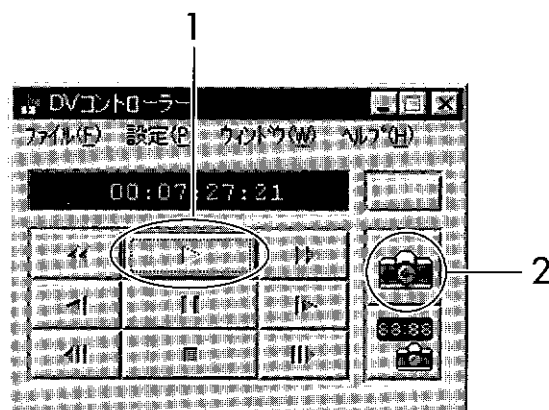
- 最初の画像
- 前の画像
- スライドショー開始
- スライドショー停止
- 次の画像
- 最後の画像

②「コントロール」ボタン

ツールバー表示を消したときや、**「ウィンドウ」**－**「ボタン」**をクリックすると表示します。

ツールバーなどの表示やスライドショーの操作は、画像ビューアーウィンドウでマウスの右ボタンをクリックして表示されるメニューでも行うことができます。

基本的な使い方

画像を取り込む（キャプチャー）

1. DVコントローラーの「再生」をクリックして、接続機器を再生する

- 操作ボタンで接続機器のコントロールができます。

2. 取り込みたい場面で、「キャプチャー」を押す

- 画像転送後、インデックスウィンドウに、新しくインデックスが追加されます。

アルバム保存をしないまま、繰り返し99枚までの画像を取り込むことができます。

ご注意

- 接続機器をコントロールするときは、「DVコントローラー」ウィンドウの操作ボタンを使用してください。接続機器側のボタン操作はしないでください。接続機器側との動作が異なったり、誤動作することがあります。
- 接続機器側がテープの始めや終わりで自動的に停止しても、「DVコントローラー」ウィンドウの動作表示が停止にならないことがあります。このようなときは、「DVコントローラー」ウィンドウの停止ボタンを押したあと、巻戻しなどの操作をしてください。
- DVテープの再生時、一時停止またはスロー再生で画像取り込みをすると、取り込んだ画像にノイズが出ることがあります。このような時は、通常再生で画像取り込みをしてください。
- 再生するテープの状態（劣化、つなぎ目部分など）によっては、画像にノイズが出ることがあります。

画像を見る

取り込んだ画像は、すぐに画像ビューアーでご覧いただけます。

1. インデックスウィンドウで表示したい「インデックス」をダブルクリックする

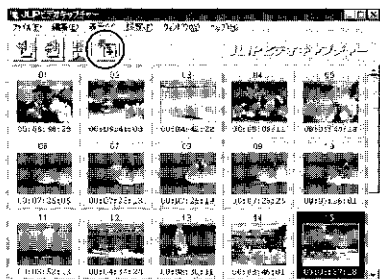
●「画像ビューアー」ウィンドウが開き、画像を表示します。

次の方法でも画像を表示できます。

[方法 1]

①「インデックス」をクリックして反転表示にします。
②「画像ビューアー」をクリックします。

[方法 2]

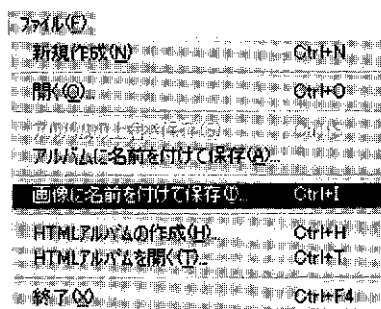
選択したインデックス上で、マウスの右ボタンをクリックしてメニューを表示し「画像ビューアーを開く」を選択します。

• 本ソフトにはプリント機能がありません。
お使いのペイント系ソフトなどを使ってプリントしてください。

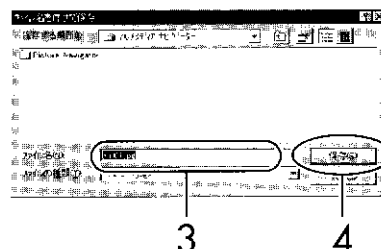
基本編

画像を保存する

画像に名前を付けて保存する

1. 「保存したいインデックス」をクリックして反転表示させる

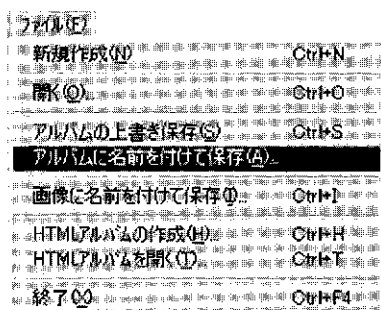
2. 「ファイル」－「画像に名前を付けて保存」を選択する

3. 「ファイル名の欄」に名前を入れる

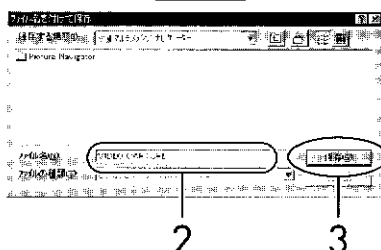
4. 「保存」を押す

• ¥ / : , ; * ? " < > | の各文字はファイル名には使用できません。
• 本ソフトでは保存の画像形式を変えることができます。（☞27ページ）

アルバムを保存する

アルバムに名前を付けて保存する

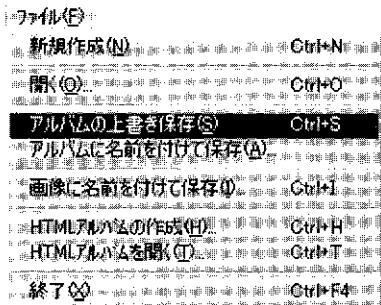
取り込んだ画像を 1 つにまとめて、アルバムとして保存することができます。

1. 「ファイル」－「アルバムに名前を付けて保存」または「アルバムの保存」をクリックする

または

2. 「ファイル名の欄」にアルバムの名前を入れる

3. 「保存」をクリックする

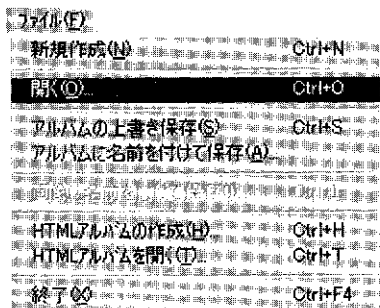
アルバムを上書き保存する

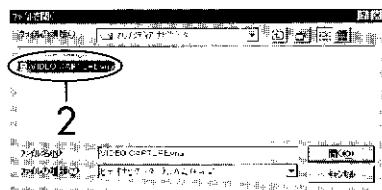
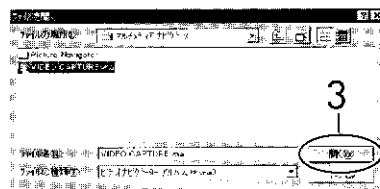
一度「アルバムに名前を付けて保存」をしたアルバムに、画像の追加や削除をしたときに用います。アルバム名は同じ名前のまま保存します。

1. 「ファイル」－「アルバムの上書き保存」を選択する

基本的な使い方（つづき）

アルバムファイルを開く

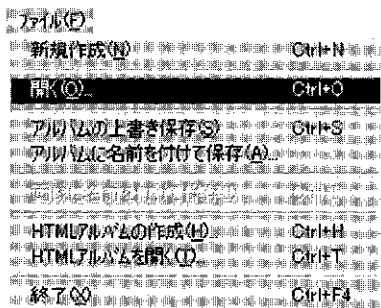
保存したアルバムファイル（拡張子.vna）を開きます。

1. 「ファイル」－「開く」を選択する、または「ファイルを開く」をクリックする
   - 「ファイルを開く」ダイアログが出ます。

または

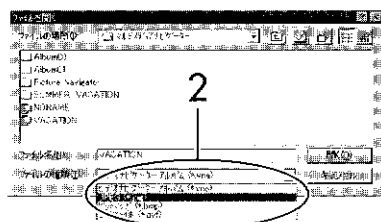
2. 「開きたいアルバムファイル」を選択する

3. 「開く」をクリックする
   - アルバムが開き、インデックスウィンドウに画像ボックスが表示されます。

画像ファイルをインデックスに追加する

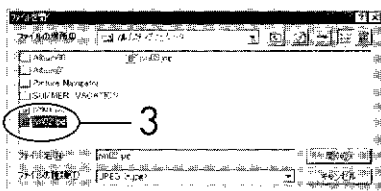
既存の画像ファイルやJLIPビデオキャプチャーで作成した画像ファイルを開きます。開くことのできるファイルの種類はJPEG（拡張子.jpg)、ビットマップ（拡張子.bmp)、DVF（拡張子.dvf）です。

1.「ファイル」－「開く」を選択する、または「ファイルを開く」をクリックする

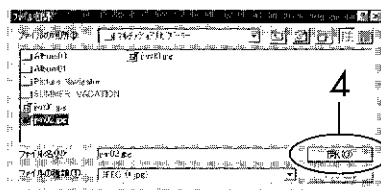
- 「ファイルを開く」ダイアログが出ます。

または

2.「ファイルの種類」を選ぶ

- 開きたい画像ファイルの種類を「ファイルの種類」欄から選びます。

3.「開きたい画像ファイル」を選択する

- 開きたい画像ファイルをダブルクリックしてインデックスを追加することもできます。

4.「開く」をクリックする

- インデックスウィンドウにインデックスが追加されます。

ご注意

- JPEGまたはビットマップファイルの場合は、インデックスにタイムコードを表示しません。
- JPEGまたはビットマップ形式の場合、どのような画像サイズでも720x480に変換されます。
- 横縦比4：3以外の画像ファイルを追加するときは、20ページをご覧ください。

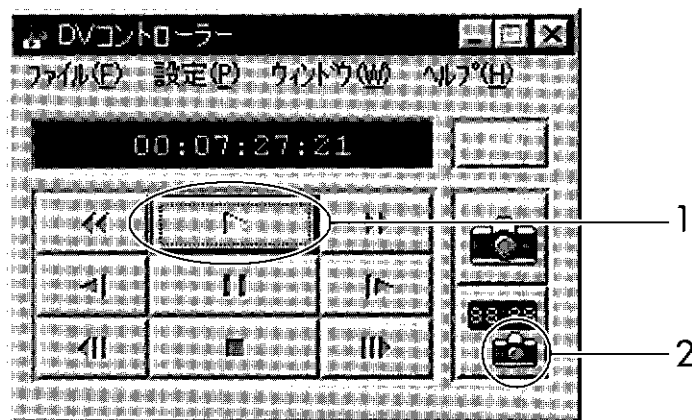
画像を確認したいときは、画像ボックスをダブルクリックして画像ビューアーでご覧ください。

基本編

応用的な使い方

画像を取り込む

自動キャプチャー

設定した条件で接続機器の再生をコントロールして、自動的に画像を取り込みます。

設定のしかた

1. 「再生 ［　］」をクリックする

2. 「自動キャプチャー ［　］」をクリックする
   - 自動的に接続機器は、静止画再生になります。

ご注意

- カウンター表示（タイムコード）00:00:00:00～00:00:30:00の部分では、自動キャプチャーできません。
- お使いのパソコンの仕様や状態によって設定した内容のとおりに取り込めない場合があります。
- ウィンドウの移動やサイズ変更、スクロール操作、ファイル操作などを行った場合、設定したフレームや枚数、間隔で画像を取り込めない場合があります。
- 再生するテープの傷みによって、設定したフレームや枚数、間隔で画像を取り込めない場合があります。
- 再生するテープに無記録部分があると、正常に動作しません。

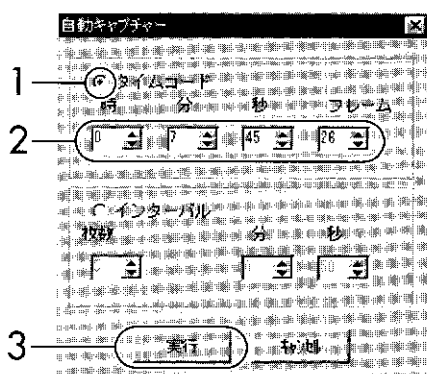
アルバム保存をしないまま、繰り返し99枚までの画像を取り込むことができます。

タイムコード検索

指定したタイムコードの位置にある画像を自動的に取り込みます。

1. 「タイムコード」をクリックする

2. 「時、分、秒、フレーム」を入力する

3. 「実行」をクリックする

インターバルキャプチャー

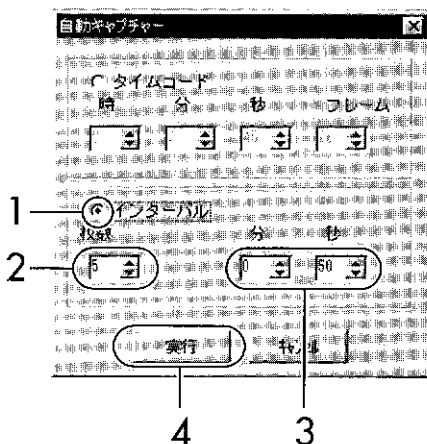
設定した枚数と間隔で自動的に画像を取り込みます。

1. 「インターバル」をクリックする

2. 「枚数」を入力する

3. 「分と秒」を入力する
   - 取り込む間隔を設定します。

4. 「実行」をクリックする

ご注意

- インデックス番号99まで取り込んだとき、またはテープの終わりになったときは、指定枚数以下でも自動的に中止します。

応用編

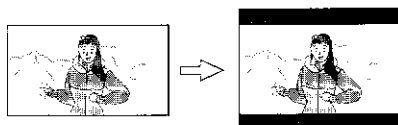
応用的な使い方（つづき）

画像読み込み

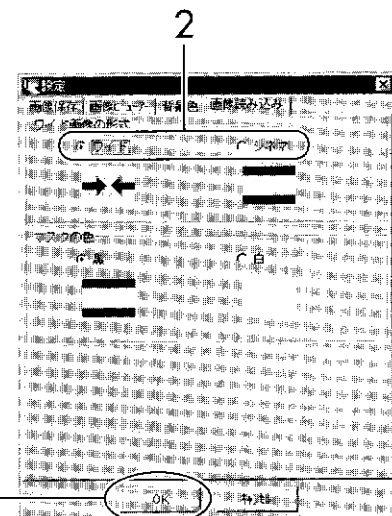
ワイド画像の形式を設定する

横縦比 16：9 のワイド画像ファイルをインデックスに追加するときの形式を設定します。

ワイド
ワイド画像の左右を圧縮し、
4：3の画像として取り込みます。

シネマ
ワイド画像の上下にマスクを挿入し
4：3の画像として取り込みます。

設定のしかた

1. インデックスウィンドウの「設定」－「画像読み込み」を選択する

2. 「ワイドまたはシネマ」をクリックして選ぶ

3. 「OK」をクリックする

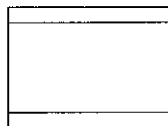
マスクの色を設定する

横縦比4：3以外の画像ファイル（ワイド画像のワイド形式を除く）をインデックスに追加するときに、上下または左右に挿入するマスクの色を設定します。

黒
マスクの色を黒にします。

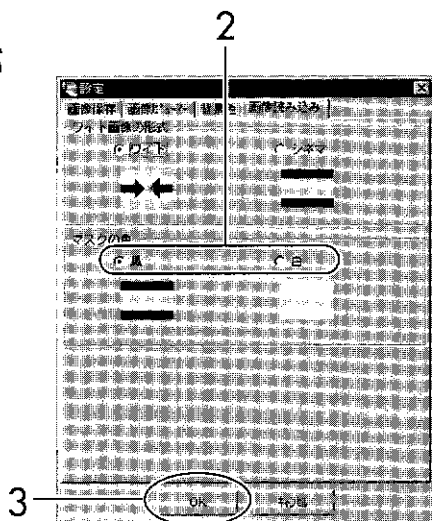
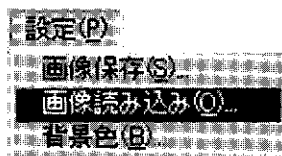
白
マスクの色を白にします。

設定のしかた

設定(P)
画像保存(S)...
画像読み込み(O)...
背景色(B)...

1. インデックスウィンドウの「設定」－「画像読み込み」を選択する

2. 「黒または白」をクリックして選ぶ

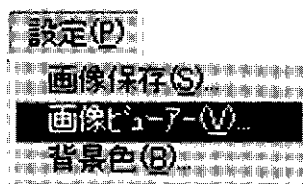
3. 「OK」をクリックする

応用編

画像を見る

スライドショーの設定

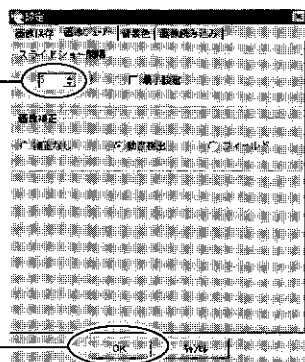
スライドショーでは画面の表示間隔を変更することができます。鑑賞や確認など用途にあった表示間隔でお使いいただけます。

1. 画像ビューアーウィンドウで、「設定」－「画像ビューアー」を選択する

- 「画像ビューアー設定」ダイアログが表示されます。
- インデックスウィンドウの「設定」－「画像読み込み」－「画像ビューアー」を選択しても表示します。

2. 「スライドショー間隔」を設定する

- 0～30 秒の範囲で設定します。

ご注意

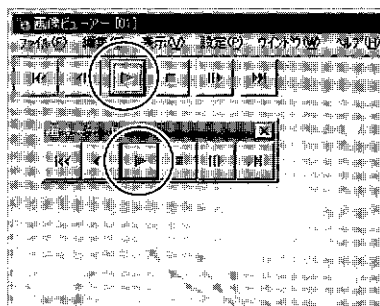
- 最小設定欄にチェックマーク が付いていると、スライドショー間隔の設定はできません。設定したいときは、最小設定欄をクリックしてチェックマークをはずしてください。
- スライドショーの間隔は、画像表示処理の時間分だけ長くなります。

画像を素早く見たいときは、最小設定をクリックしてチェックマークを付けます。設定したスライドショー間隔が無効になり、最小の表示間隔でスライドショーをご覧いただけます。

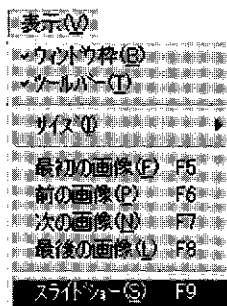
3. 「OK」をクリックする

スライドショーを見る

インデックスウィンドウに表示している画像をスライドショーで見ることができます。

1. 画像ビューアーウィンドウの▶ボタンまたは「表示」－「スライドショー」をクリックする

- スライドショーが始まります。

2. 「スライドショー」を停止するときは、表示されている画像をクリックする
または「画像ビューアー」ウィンドウの■ボタンをクリックする

- 他のメニュー操作またはボタン操作でもスライドショーは停止します。

「スライドショー」は表示画像の上でマウスの右ボタンをクリックして現れるメニューでも操作することができます。

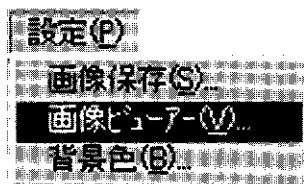
応用編

画像を見る（つづき）

画像ビューアーの画像補正

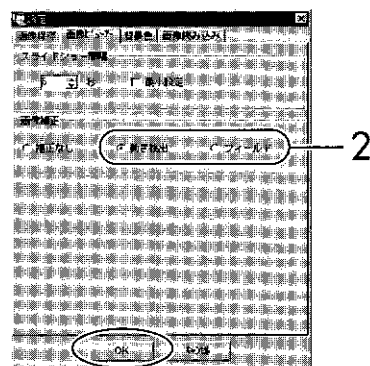
動きの早い画像を取り込むと画像にブレが生じることがあります。このようなときは画像補正をかけることで、ブレの少ない安定した画像になります。

1. 画像ビューアーウィンドウで「設定」－「画像ビューアー」を選択する

●「画像ビューアー設定」ダイアログが表示されます。

2. 「画像補正」の項目をクリックする

●「動き検出」または「フィールド」をクリックします。

動き検出　：ブレのある部分だけを補正します。

フィールド：通常1画面の半分のデータで画像を作成します。データ量が半分のため「動き検出」より表示の処理が早くなります。

接続機器を静止画再生状態にして画像を取り込むときは、「補正なし」を選択します。

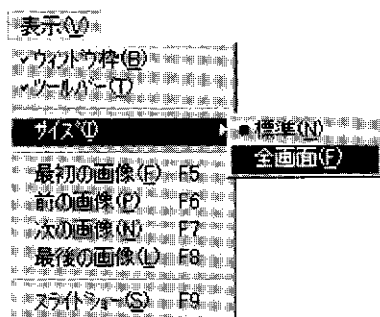
3. 「OK」をクリックする

画像表示サイズを変える

画像ビューアーウィンドウでは画像の表示サイズ（標準／全画面）を切り換えることができます。

画像を全画面表示にしたいとき

- **画像ビューアーウィンドウで「表示」－「サイズ」－「全画面」を選択する**

ご注意 パソコンの表示設定が640x480ピクセルの場合は全画面表示できません。

画像を標準表示にしたいとき

- **画像ビューアーウィンドウで「表示」－「サイズ」－「標準」を選択する**
  - 標準サイズ（768x576ピクセル）になります。

応用編

画像を見る（つづき）

画像ビューアーの画面表示を変える

ウィンドウの設定を変えることができます。パソコンのモニターいっぱいに画像を表示したいときなどにお使いください。

● **画像ビューアーウィンドウで「表示」－「ウィンドウ枠」を選択する**

- チェックマーク☑がはずれてウィンドウ枠が消えます。

表示(V)
✓ウィンドウ枠(B)
✓ツールバー(T)
サイズ(I) ▶
最初の画像(F) F5
前の画像(P) F6
次の画像(N) F7
最後の画像(L) F8
スライドショー(S) F9

ウィンドウ枠を表示したいときは

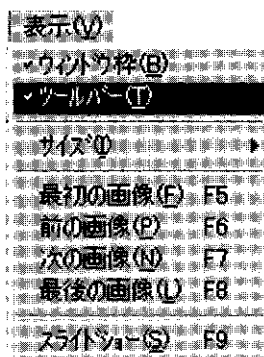
- マウスの右ボタンをクリックして表示されるメニューで「ウィンドウ枠」の項目をクリックします。
- チェックマーク☑が付いて、ウィンドウ枠を表示します。

● **画像ビューアーウィンドウで「表示」－「ツールバー」を選択する**

- チェックマーク☑がはずれて、ツールバーが消えます。

表示(V)
✓ウィンドウ枠(B)
✓ツールバー(T)
サイズ(I) ▶
最初の画像(F) F5
前の画像(P) F6
次の画像(N) F7
最後の画像(L) F8
スライドショー(S) F9

ツールバーを表示したいときは

「表示」－「ツールバー」をクリックするとチェックマーク☑が付いて、ツールバーを表示します。

画像を保存する

画像形式を変える

インデックスウィンドウまたは画像ビューアーウィンドウでは、保存する画像形式を指定することができます。ここで設定した画像形式は画像を保存するときに反映されます。

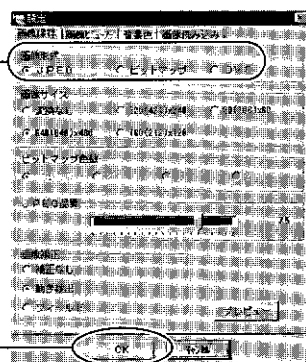
1.「設定」－「画像保存」を選択する

● 「画像保存」ダイアログを表示します。

インデックスウィンドウ

画像ビューアーウィンドウ

2.「保存したい画像形式」をクリックする

●JPEG、ビットマップ、DVF から選びます。

画像形式と用途

JPEG　：フルカラーのデータを比較的高い圧縮率で保存します。ビットマップに比べてデータ量が少なくてすみます。

ビットマップ：Windows® で標準的に扱うことのできる形式です。多くのアプリケーションソフトがこの形式に対応しています。

DVF　：デジタルビデオの静止画保存形式です。取り込んだ画像データをそのまま保存できます。

3.「OK」をクリックする

4. 保存の操作を行う

● *14*ページをご覧ください。

画像を保存する（つづき）

保存する画像サイズを変える

用途に応じた画像サイズに変更して、ファイルサイズを小さくすることができます。
インデックスウィンドウまたは画像ビューアーウィンドウから設定します。

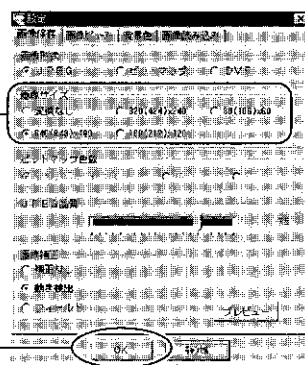
1.「設定」－「画像保存」を選択する

- 「画像保存」ダイアログを表示します。

インデックスウィンドウ

画像ビューアーウィンドウ

2. 保存したい画像サイズをクリックする

- 「変換なし」の画像サイズは720x480ピクセルです。標準モード（横縦比4:3）で記録されている画像では横長になります。
- ワイドモード（横縦比16：9）で記録されている画像では、画像サイズは（　）内の数字で表されるサイズとなります。
- 「プレビュー」をクリックすると、変更後の画像を確認できます。

3.「OK」をクリックする

4. 保存の操作を行う

- *14*ページをご覧ください。

保存する画像の色数を変える

保存するときの画像形式をビットマップにしたとき、色数を変えることができます。
インデックスウィンドウまたは画像ビューアーウィンドウから設定します。

1. 「設定」－「画像保存」を選択する

●「画像保存」ダイアログを表示します。

インデックスウィンドウ

画像ビューアーウィンドウ

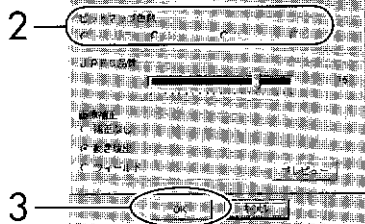
2. 「変えたい色数」をクリックする

●フルカラー、256、16、2から選びます。
●「プレビュー」をクリックすると、変更後の画像を確認できます。

3. 「OK」をクリックする

4. 保存の操作を行う

●*14*ページをご覧ください。

応用編

画像を保存する（つづき）

JPEG 品質を変える

保存するときの画像形式を JPEG にしたときは、品質を変えることができます。品質に応じてファイルサイズも変わります。インデックスウィンドウまたは画像ビューアーウィンドウから設定します。

1.「設定」－「画像保存」を選択する

- 「画像保存」ダイアログを表示します。

インデックスウィンドウ

設定(P)
画像保存(S)...
画像読み込み(O)...
背景色(B)...

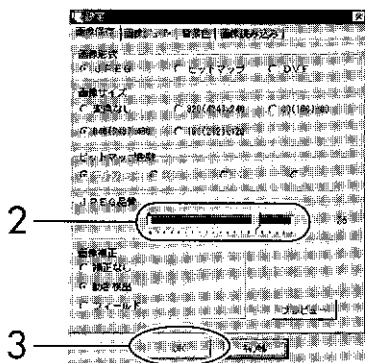
画像ビューアーウィンドウ

2.「JPEG 品質」のスライダーで品質を合わせる

- 初期の設定品質は 75 になっています。
- 品質を下げたいときは左に動かし、品質を上げたいときは右に動かします。
- 「プレビュー」をクリックすると、変更後の画像を確認できます。

3.「OK」をクリックする

4. 保存の操作を行う

- *14* ページをご覧ください。

- JPEG品質の数字を大きくすると、画像の品質が上がり、ファイルサイズが大きくなります。JPEG品質の数字を小さくすると、画像の品質が下がり、ファイルサイズが小さくなります。
- ファイルサイズが小さいと容量が少ないため、フロッピーディスク、ハードディスク、MOなどにより多くの画像を保存できます。（画像の品質は下がります。）

ブレ補正

動きの早い画像を取り込むと画像にブレが生じることがあります。このようなときは画像補正をかけることで、ブレの少ない安定した画像になります。

1.「設定」－「画像保存」を選択する

- 「画像保存」ダイアログを表示します。

インデックスウィンドウ

画像ビューアーウィンドウ

2.「画像補正」の項目をクリックする

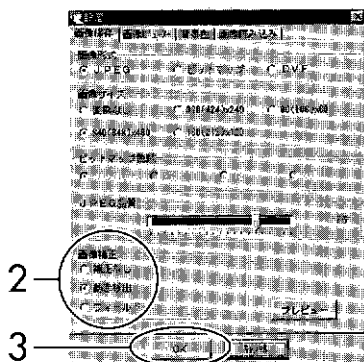
- 「動き検出」、「フィールド」から選びます。
  動き検出　：ブレのある部分だけを補正します。
  フィールド：通常1画面の半分のデータで画像を作成します。
- 「プレビュー」をクリックすると、変更後の画像を確認できます。

接続機器を静止画再生状態にして画像を取り込むときは、「補正なし」を選択します。

3.「OK」をクリックする

4. 保存の操作を行う

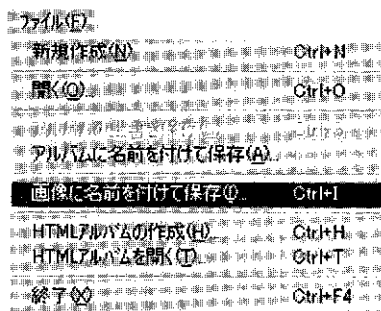
- 14ページをご覧ください。

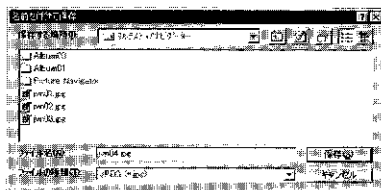
応用編

画像を保存する（つづき）

複数の画像を保存する

取り込んだ複数の画像をインデックスウィンドウで一括して保存することができます。
自動的にファイル名を付ける機能もあります。

1. 「インデックス」ウィンドウで保存したい画像を選択する
   - 選択方法は34ページをご覧ください。

2. インデックスウィンドウで「ファイル」－「画像に名前を付けて保存」を選択する
   - 「ファイル名を付けて保存」ダイアログが出ます。

3. ①自動的に保存する場合

   表示されている名前を変えずに「保存」をクリックする
   - 「すべての画像をこの既定名で保存しますか？」の表示が出ます。
   - 「はい」を選ぶと自動的にファイル名を付けて保存します。

   ②名前を付けて保存する場合

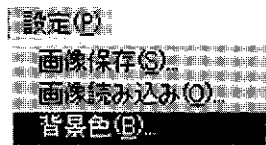
   お好みのファイル名を付けて「保存」をクリックする
   - 画像ファイル１つずつに同様の操作をしてください。

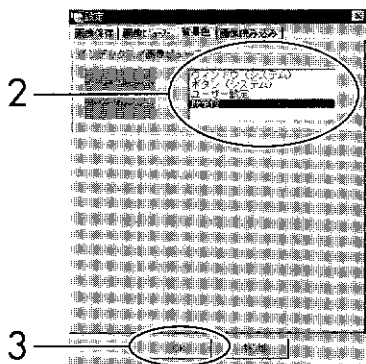
画面の背景色を変える

インデックスウィンドウまたは画像ビューアーウィンドウの背景色を変更します。

1.「設定」－「背景色」を選択する

●「背景色」ダイアログが開きます。

設定(P)
画像保存(S)...
画像読み込み(O)...
背景色(B)...

2. 背景色を選ぶ

● ユーザー設定を選んだときは、色の設定ダイアログが出ます。基本色の中から選ぶか色の設定をして「OK」をクリックしてください。

3.「OK」をクリックする

● 設定した背景色に変わります。

・手順２の背景色の項目でウィンドウまたはボタンを選んだときの色は、Windows® の「画面のプロパティ」画面にある「配色」が反映します。
「画面のプロパティ」は、スタートメニューの「設定」－「コントロールパネル」－「画面」－「デザイン」をクリックすると表示します。
・設定した背景色は HTML アルバムに反映されます。

インデックス画像の複数選択の方法

画像保存、HTMLアルバム作成、アルバムを選択するときなどにインデックスを複数選択できます。

●任意のインデックスを複数選択する

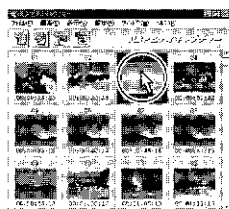
キーボードの「Ctrl」を押しながら、インデックスを選択する

- すでに選択されているインデックスをクリックすると解除されます。

●連続したインデックスを選択する

方法1

① 最初のインデックスをクリックする
- 反転表示になります。

② キーボードの「Shift」を押しながら、選択する部分の最後のインデックスをクリックする
- 選択したインデックス部分がすべて反転表示になります。

方法2

選択する最初のインデックスでマウスの左ボタンを押しながらマウスカーソルを選択する最後のインデックス上に移動させ、指を離します。

●すべてのインデックスを選択する

キーボードの「Ctrl」を押しながら、「A」を押す

●すべての選択を解除する

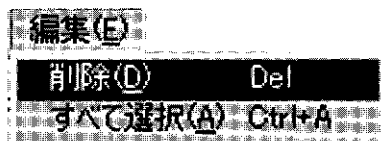
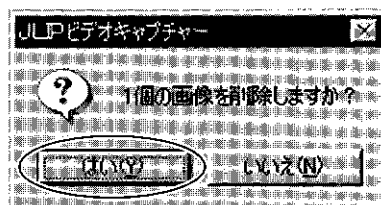
インデックス表示部の背景部分をクリックする

アルバムを整理する

不要な画像を削除する

インデックスウィンドウで不要な画像を削除します。

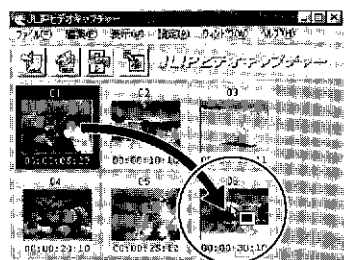
1. 「インデックス」ウィンドウで削除したい画像ボックスを選択する

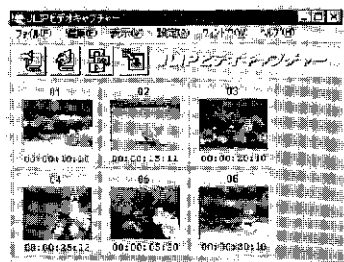
2. インデックスウィンドウで「編集」－「削除」を選択する
   - 「xx 個の画像を削除しますか？」と出ます。

3. 「はい」をクリックする
   - 画像が削除されます。

画像を並び替える／コピーする

インデックスウィンドウでインデックスを移動させるとアルバム内の画像の並び順を替えることができます。

1.「移動したいインデックス」をクリックして反転表示させる

2.「反転表示したインデックス」の上でマウスの左ボタンを押す

● ■マークを表示します。

3.「移動先のインデックス」の上で、マウスの左ボタンから指をはなす

● 画像が移動します。

画像をコピーしたいときは、キーボードの「Ctrl」を押しながら2, 3の操作をします。

アルバムを整理する（つづき）

アルバムに画像を追加する

接続機器から画像を取り込んで追加する方法と、パソコンのハードディスクなどに保存してある画像ファイル（JPEG／ビットマップ／DVF）を追加する方法があります。

接続機器から取り込む場合

アルバムファイルを開いてから「画像を取り込む」（☞*12, 18～19*ページ）を行ってください。

画像ファイルを追加する場合

● **画像ファイルを「インデックス」ウィンドウ上にドロップする**

● インデックス番号の最後に追加されます。

- JPEGまたはビットマップファイルの場合、インデックスのタイムコードは00:00:00:00となります。
- JPEGまたはビットマップ形式の場合、どのような画像サイズでも720x480に変換されます。
- 横縦比4：3以外の画像ファイルを追加すると、表示または保存したときに画像が歪みます。

画像を編集する

画像エディターを開く

画像ビューアーウィンドウから画像の編集や加工をするための画像編集ソフトを開くことができます。画像編集ソフトがあらかじめインストール済みであることが必要です。

● **画像ビューアーウィンドウで「編集」－「画像エディターを開く」を選択する**

編集(E)
クリップボードにコピー(C) Ctrl+C
画像エディターを開く(O)

- 画像編集ソフトが起動します。

- この機能はファイルの「関連付け」の機能を使用しています。お使いのパソコンの設定によって画像エディタ以外のソフトが起動する場合があります。
- 画像編集ソフトに読み込まれる画像ファイルの形式は、「設定」－「画像保存」を設定した内容になります。
- 保存形式が「DVF」の場合には使用できません。「JPEG」または「ビットマップ」を選択してください。
- 「JLIPビデオキャプチャー」を終了しないで画像編集を行った場合、多くのメモリーを消費するため、画像編集アプリケーションの動作が遅くなったり、ごくまれにパソコンの停止などのトラブルが起こることがあります。画像編集ソフトが起動したら「JLIP ビデオキャプチャー」を終了してください。
- 本ソフトにはプリント機能がありません。お使いのペイント系ソフトなどを使ってプリントしてください。

クリップボードにコピーする

クリップボードはパソコンのメモリーに一時的にデータを保管しておく機能です。一時保管した画像は、画像を扱うことのできる他のソフトで利用できます。

1. 画像ビューアーウィンドウで「編集」－「クリップボードにコピー」を選択する

- 画像がクリップボードにコピーされます。

2. 他のソフトを起動し、「編集」－「貼り付け」を選択する

- クリップボードの画像が、他のソフトに貼り付けられます。
- メニューが「貼り付け」ではなく「ペースト」となっているソフトもあります。

応用編

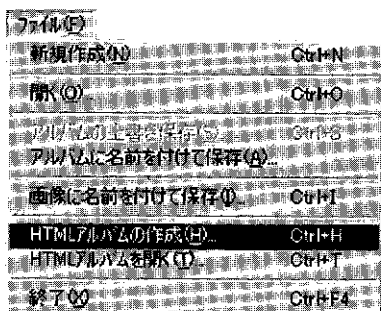
- お使いのパソコンのメモリー容量と、表示している画像の数によって、この機能が使えない場合もあります。
- クリップボードにコピーされる画像サイズは標準の画像が640x480ピクセル、ワイド画像が848x480ピクセルになります。
- 「JLIPビデオキャプチャー」を終了しないで画像編集を行った場合、多くのメモリーを消費するため、画像編集ソフトの動作が遅くなったり、ごくまれにパソコンの停止などのトラブルが起こることがあります。画像編集ソフトが起動したら「JLIP ビデオキャプチャー」を終了してください。

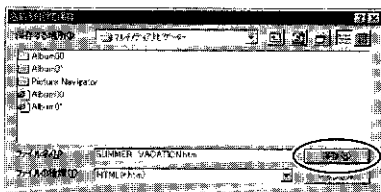
インターネットの閲覧ソフトで画像を使う

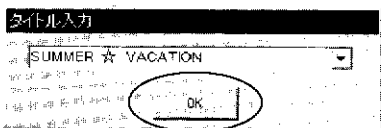
HTMLアルバムを作成する

インターネットのホームページや配布などに便利な「HTMLアルバム」で保存します。

1. インデックスウィンドウで「HTMLアルバム」に入れたいインデックスを選択する
   - 選択方法は34～35ページをご覧ください。
   - 「インデックス」を選択しないと、すべての画像が「HTMLアルバム」になります。

2. 「ファイル」－「HTMLアルバムの作成」を選択する
   - 「ファイル名を付けて保存」ダイアログが出ます。

3. ファイル名を付けて、「保存」をクリックする
   - タイトル入力ダイアログが出ます。

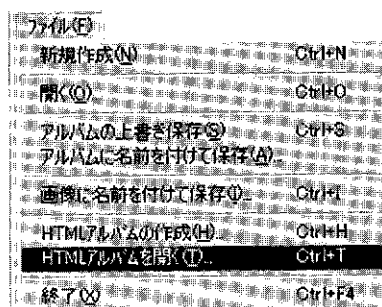
4. タイトルを入れて、「OK」をクリックする
   - （ファイル名）.htmのファイルと、同名の画像フォルダが作成されます。
   - 閲覧ソフトで見たときに、このタイトルがアルバムタイトルとして表示されます。

・作成したHTMLファイルと同名の画像フォルダをコピーしたり移動するときは、両方を同時におこなってください。（相対パスでリンクされています）

・HTMLファイルを市販のホームページ作成ソフトで加工すると、より豊かな表現のホームページを作ることができます。
・画像フォルダに作成される画像ファイルはJPEG形式の品質75に設定されていて変更することはできません。
・HTML形式のアルバムを「JLIPビデオキャプチャー」で開くことはできません。
・「JLIPビデオキャプチャー」で背景色がシステムカラー以外に設定されている場合、HTMLアルバムの背景色は「JLIPビデオキャプチャー」と同じ色になります。

HTMLアルバムを開く

インターネットの閲覧ソフトを自動的に呼び出して、「HTMLアルバム」を開きます。

「ファイル」－「HTMLアルバムを開く」を選択する

● 作成した「HTMLアルバム」をインターネットの閲覧ソフトが自動的に開きます。

ファイル(F)
- 新規作成(N)　Ctrl+N
- 開く(O)...　Ctrl+O
- アルバムの上書き保存(S)　Ctrl+S
- アルバムに名前を付けて保存(A)...
- 画像に名前を付けて保存(I)...　Ctrl+I
- HTMLアルバムの作成(H)...　Ctrl+H
- HTMLアルバムを開く(T)...　Ctrl+T
- 終了(X)　Ctrl+F4

「HTMLアルバム」を開くためには、インターネット閲覧ソフトがインストールされている必要があります。

- 電話回線などでインターネットに接続していなくても、作成した「HTMLアルバム」をインターネットの閲覧ソフトで開くことができます。
- インターネットの閲覧ソフトの使用方法は、閲覧ソフトに付属している説明ファイルやヘルプをご覧ください。ビクターではお答えいたしかねます。

こんなときは

内　容	処　　置	参照ページ
接続機器の検出ができない	●ビデオカメラがACアダプターで接続されているか確認してください。 ●パソコンケーブルが確実に接続されているか確認してください。 ●ビデオキャプチャーを起動する前に、接続機器の電源を入れてください。 ●再接続しても検出ができない場合は、Windows®を終了し、パソコンと接続機器の両方の電源をいったん切ってから再起動してください。 ●内蔵モデムやIrDAを使用している場合、それらのドライバがCOMポートに割り付けられているため、RS-232C端子が使用できなくなっている場合があります。このようなときは、デスクトップの「マイコンピュータ」を右クリックして「プロパティ」を選択し、「システムのプロパティ」の「デバイスマネージャ」タブをクリックし、「ポート」の項目で確認してください。COMポートの空きがない場合は、COMポート使用しているモデムやIrDAドライバを「使用不可」にしてください。 ●USBやデジタルスチルカメラのドライバによっては、RS-232C端子が使用できない場合があります。 ●パソコンの機種によっては、BIOS設定が必要です。	5 7
自動キャプチャーが正常に動作しない	●お使いのパソコンの仕様や状態によって、画像を取り込めない場合があります。 ●画像取り込み中にウィンドウの移動やサイズ変更、スクロール操作、ファイル操作などを行った場合、このような症状になります。 ●再生しているテープの傷みによって、接続機器から正しいデータが送られてこない場合、このような症状になります。 ●LPモードで記録したテープを別のビデオ機器で再生すると、このような症状が出ることがあります。 ●画像取り込み中に他のアプリケーションが割り込み処理を行っている場合があります。割り込み処理をするアプリケーションが起動していないか、または起動するように設定されていないかをご確認ください。	18, 19

索引

あ

か

さ

た

は

わ

アルファベット

お問い合わせ

ビクター製品についてのお買物相談、お取り扱い方法、お手入れ方法その他ご不明な点は、下記までお問い合わせください。

■ 東京お客様ご相談センター

☎ (03)5684-9311

〒113-0033 東京都文京区本郷3丁目14-7 ビクター本郷ビル

■ 大阪お客様ご相談センター

☎ (06)6765-4161

〒543-0028 大阪市天王寺区小橋町10-16 大阪ビクタービル

この機種についてのお取り扱い、接続等の技術的なご相談は、下記までお問い合わせください。

■ DVご相談窓口

☎ (045)450-2770

ビクターホームページ

http://www.jvc-victor.co.jp/

ホームAVネットワークビジネスユニット

〒221-8528 横浜市神奈川区守屋町3丁目12番地 電話(045)450-2550

0700MNV＊SW＊'